

授業科目	*地域生活支援論					実務家教員担当科目	○			
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期			
担当教員	吉原 悅子									
授業概要	<p>地域で暮らす人々の生活と健康を支援するため、地域特性を把握し、看護が提供される暮らしの場を理解し、また、社会背景を踏まえ地域包括ケアシステムについて理解を深める。保健、医療、福祉、教育の専門職種の機能や役割について学び、連携・協働の基盤を作り、その中で期待される看護の役割を考察する。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として看護師での臨床経験を持ち、また、暮らしの保健室などにおけるボランティア活動を通して得た経験を活かし、学生自身が地域で暮らす一員としての意識をもって健康や生活に関する支援に取り組む力の育成を目指す。</p>									
授業形態	対面授業			授業方法	講義					
<b>学生が達成すべき行動目標</b>										
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>暮らしの拠点として自分たちの住む地域の特性を把握し、説明することができる。</li> <li>人々の暮らしを多角的にとらえ、健康との関連を考えることができる</li> <li>地域包括ケアシステムの概念と社会背景について説明することできる。</li> <li>地域包括ケアシステムにおける多様な専門職の役割や連携・協働について説明することができる。</li> <li>地域で生活する様々なライフサイクル、健康レベルの人々の多様なニーズを理解し、看護の機能や役割について考え自身の言葉で説明することができる。</li> </ol> <p>看護が求められる多様な場とその特性を理解し、その中で自分自身も地域の中の一員であることを自覚しながら、地域包括ケアシステムについて説明できることを目指す。また、地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種の機能や役割、連携・協働について説明できる。</p>									
	<p>標準的なレベルを修得し、さらに、地域で生活するあらゆる健康レベルの人々に対して、それぞれの場面において看護のあり方について考えることができる。また、地域包括ケアの一員としてフォーマルな社会資源のみではなく、ボランティア、住民活動などのインフォーマルな資源を視野に入れ、地域の活動を広くとらえ、人々の健康に貢献するために看護が担う役割について考え、学生自身の言葉で説明することができる。</p>									
<b>評価方法・評価割合</b>										
評価方法		評価割合（数値）			備考					
試験		55%								
小テスト		0								
レポート		40%								
発表（口頭、プレゼンテーション）		0								
レポート外の提出物		5%			講義中に行うワーク					
その他		0								
<b>カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング</b>										
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	NU21302J	
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）		

復習：本日の講義の内容について振り返り、不明な点について調べる。

4

予習：次回の講義内容についてテキストや配布資料について目を通しておく。

## 授業計画

第1回	テーマ：看護と生活と社会 地域で生活する人々の暮らしや健康について理解し、その関係や生活を支援することについて考える。
	テーマ：人々の暮らしと地域について 暮らしの多様性から理解を深め、コミュニティアズパートナーモデルを使用し、地域を見る視点を学んだうえで、自分の生活する地域の特性や環境について考える。
第2回	テーマ：自分の住んでいる地域について概観する 自分の生活する地域を概観し、地図上に表し、特性を考え、その地域の課題を見出す。
第3回	テーマ：地域と社会資源 様々な健康レベルにある人が地域の中で暮らし続けるために必要な社会資源マップを作成する。
第4回	テーマ：地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種の機能と役割について 連携する機関、多職種の機能と役割について概説する。
第5回	テーマ：地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種連携について これまで、講義の中で学んだ職種や早期看護実習の中で関わった職種などを思い起こし、連携する機関、多職種との連携について考える。
第6回	テーマ：地域包括ケアシステムと社会的背景 地域包括ケアシステムと共生社会について理解することができる。
第7回	テーマ：地域包括ケアシステムと自助・互助・共助・公助、および看護の役割について 地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を考えることができる。
テキスト	・河原加代子：地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤 医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・高橋紘士：地域包括ケアシステム オーム社 ・関永信子：地域包括ケアシステムの基礎的理解と実践 翔雲社 ・秋山正子：つながる・ささえる・つくりだす在宅現場の地域包括ケア 医学書院 ・平野かよ子：健康と社会・生活 メディカ出版
課題に対するフィードバックの方針	提出物のフィードバックは講義内で行います。
学生へのメッセージ・コメント	健康や医療、社会保障制度等に関連する書物やニュースに关心を持ちましょう。 特に地域の催事に興味を持ち、どのようなライフステージの方が参加されているのか関心を持ちましょう。 地域で生活するに当たり、困っていることや不便に感じていることはないか周囲の方にインタビューをしてみましょう。 地域で生活する人々に关心を持ちどのような課題を抱えているのかなど、自分の住んでいる地域に目を向け、関心を持って生活し、その上で課題が見いだせる力をつけていきましょう。 レポートについては講義の中で説明します。 出席については、出席カードなどを提出してもらいます。